



地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を

### 郡山りよう年頭挨拶



JAMシニアクラブの皆様、あけましておめでとうござい  
ます。

本年が皆様にとって、幸多  
い一年となりますことを祈念  
申し上げるとともに、会員相  
互連携のもと退職後の生活を  
楽しみ、そして生活を守る日  
頃のご活動に、心から敬意を  
表します。

私、郡山りようは昨年春に  
JAM組織内候補予定者とし  
て擁立決定をいただき7か月  
が過ぎました。現在、全国各

地を巡り、多くのJAMの  
単組・組合員の皆様にお会  
いしている日々です。全国  
各地を巡る中で、シニアク  
ラブの先輩方にお会いする  
機会も頂戴し、熱い叱咤激  
励をいただき、感謝申し上げ  
ます。

ものづくり産業の発展と  
組合員の雇用と家族の生活  
を守る、はたらく者の視点  
に立った政策実現のため、  
本年も全国を駆け巡り皆様  
の元へお伺いし、ご意見を  
頂戴しに参りたいと思いま  
す。引き続きのご指導、ご  
鞭撻のほどお願い申し上げ  
ます。

結びに、JAMシニアク  
ラブの皆様が力強く本年の  
活動を踏み出されることを  
祈念申し上げ、新年の挨拶  
とさせていただきます。

### 新年のごあいさつ

#### 日本退職者連合

#### 会長 人見一夫

新年あけましておめでとう  
ございます。会員の皆様には  
元気に新年を迎えられたこと  
と思います。

新型コロナウイルスパンデ  
ミックから4年が経過しまし  
たが、コロナ感染も終息に向  
かいつつあります。今年も健  
康第一、生命第一にこの一年  
を乗り切っていきましょう。



今年、岸田首相は解散総選  
挙に打つて出るでしょう。選  
挙では、私たちの支持する議

員を増やし安心して豊かに  
暮らせる地域社会を実現し  
ましょう。

日本は人口減少、少子高  
齢化社会に突入しています。

社会保障制度を充実させ、  
平和を守り、地域で安心し  
て暮らせる社会をめざして  
いきましょう。そのために

は年金、医療、介護、子育  
て等の施策の充実が欠かせ  
ません。

岸田政権は全世代型社会  
保障構築会議を立ち上げ、  
社会保障制度の見直しを檢  
討しています。給付の抑制  
と自己負担の増加には私た  
ちは反対です

日本退職者連合は地域で  
生き活きと豊かに暮らせる  
ために、会員の皆様と共に  
頑張る一年にしたいと考え  
ております。

皆様のご健勝、ご活躍を祈  
念して新年の挨拶とします。

### 能登地震救援カンパを実施

1月1日に発生した石川県能  
登地方を震源とする地震により、  
1月18日時点で死者232人、  
避難者が15,130人、住宅  
被害が28,936棟と、大き  
な傷跡を残しています。被災さ  
れた方々に心よりお見舞いを申  
し上げます。

JAMシニアクラブは支え合  
い、助け合いの精神にもとづき、  
現役の皆さんと連携しながら救  
援カンパを実施しています。何  
卒趣旨をご理解いただき、ご協  
力をお願い申し上げます。

カンパ金は、地方JAMに送  
金してください。具体的な送金  
先は地方JAMまたは地方シニ  
アクラブにお尋ねください。

元日の能登半島地震などで不安  
を募らせ、他方で自民党派閥の政  
治資金パーティー裏金事件で自民  
党政治への不信が高まる中で年が  
明けました。震災からの復旧・復  
興への募金活動や解散・総選挙で  
自民党政治に退場を求める活動と  
ともに、今年はこのことを重視し  
ます。

への対応が難しい人たちがいるわ  
けです。しかも、震災などの災害  
が多い日本は、マイナ保険証一本  
で対応できるのかとの疑問が大き  
くなっています。健康保険証廃止  
の撤回を求め健康保険証を存続さ  
せ

取で約1兆円、「既定予算の活用」  
で約1.5兆円を確保するとの方  
針を決定しました。「歳出改革に  
よる公費削減」では、介護、医療  
がねらい撃ちです。24年度改定で  
先送りされた介護利用料の2割負  
担の対象拡大、要介護1、2の生  
活援助の保険給付外しなどや医療・  
介護3割負担の対象拡大、高額療  
養費の自己負担の見直しを検討・  
決定するとしています。少子化の  
背景には、若者世代の中に非正規  
雇用などの安定しない生活不安が  
あります。介護や医療などの社会  
保障を後退させることは若者の将  
来不安を増大させるだけです。

AMシニアクラブでの意見交換を  
さらに深め、社会保障の後退を許  
さず、充実させる取り組みを強め  
ます。

第3に、24年度の政府予算案で  
防衛費は8兆円に迫り(22年度5.  
4兆円)、防衛装備費のローン残高  
(後年度負担)は13兆7千億円を  
超えています(22年度5.4兆円)。

岸田政権の敵基地攻撃能力保有の  
推進です。専守防衛を守ることが  
財政の上でも重要になっています。

最後に、25年参議院選挙のJAM  
M組織内候補予定者「郡山りよう」  
を国会に送り出す活動と結合して、  
生活の安定と平和の取り組みを進  
めます。会員の皆さんのご協力を  
お願いします。

### JAMシニアクラブ会長 大山勝也

第1に、マイナ保険証の使用率  
は現在5%未満にもかかわらず、  
政府は今年12月に健康保険証を廃  
止することを閣

議決定しました。  
しかし、認知症  
の方などマイナ  
保険証の使用と  
保管、トラブル

せる取り組みを継続します。  
第2に、昨年暮れに決定した岸  
田政権の「こども未来戦略」では、  
児童手当の拡充などの財源に年3  
兆6千億円程度が必要だとし、  
歳出改革による公費削減で約1.  
1兆円、公的医療保険に上乗せ徴

遇改善を含め社会保障に関するJ

### 年頭挨拶



止することを閣  
議決定しました。  
しかし、認知症  
の方などマイナ  
保険証の使用と  
保管、トラブル

せる取り組みを継続します。  
第2に、昨年暮れに決定した岸  
田政権の「こども未来戦略」では、  
児童手当の拡充などの財源に年3  
兆6千億円程度が必要だとし、  
歳出改革による公費削減で約1.  
1兆円、公的医療保険に上乗せ徴

遇改善を含め社会保障に関するJ

お願

### 村田きょう子議員 年頭ご挨拶



あけましておめでとうございませう。日本を支えるものづくり産業の発展のために、尽力されて来られたJAMシニアクラブ会員の皆さまに深く敬意を表します。

皆様からの絶大なご支援により、参議院議員に当選させていただいてから2回目の新年を迎えました。今年も、ものづくり産業の代表として、皆さまの声を国へ届けるべく日々活動してまいります。

昨年9月に、シニアクラブの定期総会に出席し、皆さまに対して御礼のご挨拶をさせていただきました。お世話になった全国の会員の皆さまと再びお会いすることが出来、大変うれしく思っております。

安心して暮らしていくためには、経済産業分野だけではなく、年金、医療、介護といった厚生労働分野にも皆さまの声を届けなくてはなりません。そのためには、厚生労働省と強い繋がりを持つ国会議員が必要で

す。かつて、津田やたろう先輩が担っておられたこの大変重要な役割を、JAM組織内候補予定者の郡山りょうさんに担って頂きたいと強く思っています。

私も、JAMの皆様への恩返しをするためにも、郡山りょうさんの必勝に向けて全力を尽くして参ります。

結びに、JAMシニアクラブの益々のご発展、会員の皆さまのご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

### 学習会を開催 「介護保険制度の現状と今後の動向」

第1回幹事会に併せて、連合本部生活福祉局長の小林司さんによる「介護保険制度の現状と今後の動向」について学習会を開催しました。

冒頭、介護保険制度の主な改正として平成12年4月の介護保険法施行から令



和5年の法改正までの経緯と継続検討となっている項目について説明がありました。その後、厚生労働省社会保障審議会の部会及び分科会で審議されている

「1号保険料負担の在り方」、「利用者負担割合が2割となる『一定以上所得』の基準」、「多床室の室料負担」

「ケアマネジメントへの給付の在り方」など第9期計画に向けた課題の検討状況の説明がされ、それに関わる介護のサービスマネジメント

への影響などについての理解を深めました。そして審議の結果ほとんどの課題が先送りされたとの報告がありました。また、家族等

介護者（ケアラー）、ヤングケアラー、ビジネスケアラー等の課題や介護職員の通年的不足や処遇改善が大

きな課題となっているので、将来にわたり介護保険制度

利用者が必要なサービスを受けられるようにするためには、介護職員の処遇改善を通じて人材確保を進めることが重要であるとして

ました。最後に、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会」の提起があり学習会を終了しました。

秋田 第21回定期総会を開催

JAM秋田シニアクラブは12月8日、にかほ市の



「象潟公民館」で第21回定期総会を開催しました。総会には、19名が出席、本部から大山会長が出席し挨拶を頂きました。

本総会では、2024年度活動方針と予算案について審議、方針の中で、参議院議員候補予定者として郡山りょう氏の推薦を決定し、さらに猪股新代表幹事を中心とする新たな役員体制を承認頂きました。

また、コロナの5類移行後で初めてとなった忘年会では、久しぶりに会員である佐藤倉太郎さんの生演奏やカラオケを実施し、以前にも増しての盛り上がりとなりました。

最後に、JAM秋田シニアクラブとして恒例となっている「星影のワルツ」の合唱にて終了としました。

### 東京

#### 街歩き「NHK放送博物館」見学を開催

長岡隆 会長

JAM東京シニアクラブは会員交流の柱として「街歩き」を年2回開催しています。第25回目の今回は11月16日に、愛宕山の「NHK放送博物館」見学会を行いました。19名が参加しました。

連日の暑さから一転、秋を飛ばして急に冬のような寒さを感じる中、19名が参加しました。

1925年(大正14年)にラジオ放送が開始され約100年。館内は、主に放送機材の変化や放送の歴史などを展示するゾーンと、放送番組を紹介するゾーンがあり、「このテレビを囲んで家族皆で見ていた」「懐かしいね!この朝ドラ」こんな言葉が思わず口に出る楽しい見学会となりました。

また、コロナの5類移行後で初めてとなった忘年会では、久しぶりに会員である佐藤倉太郎さんの生演奏やカラオケを実施し、以前にも増しての盛り上がりとなりました。

最後に、JAM秋田シニアクラブとして恒例となっている「星影のワルツ」の合唱にて終了としました。



隣接する「愛宕神社」にもそれぞれ自由に参拝しました。

街歩きと言いつつ、高齢化に伴い年々歩く距離が短くなっています。

その後、昼食を神谷町駅近く中華料理店で摂り、次回企画での再開を期して散会となりました。

### 訃報

JAM千葉シニアクラブ  
前会長・畑山和宏さん  
享年80歳

かねてより病氣療養をされていましたが、薬石の効なく1月3日にお亡くなりになりました。

畑山さんは、横河ブリッジ労働組合出身で、退職後はJAM千葉シニアクラブ事務局長、会長を歴任、JAMシニア中央幹事、千葉県退職者連合会長など高齢者運動の最前線で活躍されました。

生前のご厚誼に感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

